

リニア推進ロードマップ

飯田市

概要

リニア時代を見据えて、国では国土形成計画やスーパー・メガリージョン構想を、長野県ではリニア活用基本構想を、県及び上下伊那地域の自治体で構成する「リニア中央新幹線整備を地域振興に活かす伊那谷自治体会議」ではリニアバレー構想を、南信州広域連合ではリニア将来ビジョンや南信州リニア未来ビジョンを策定・公表しています。

そして飯田市では、開業に向けた準備を遅滞なく進めていくために「リニア推進ロードマップ」を策定し、「いいだ未来デザイン2028」（飯田市総合計画）や、国・県の動き・計画等も踏まえ、毎年時点修正を行っています。

「リニア推進ロードマップ」は推進期間をリニア開業翌年までとしており、「リニア本線工事関連」「リニア駅周辺整備」「リニア関連道路事業」の3つの分野で、令和5年度にどこで何が行われるかを地図や工程表で具体的に示し、より効果的に事業進捗を図るよう取り組むための指針です。



【柱1. リニア本線工事関連】 P.2～3

JR東海によるリニア本線工事と、発生土置き場の進捗状況について記載しています。

【柱2. リニア駅周辺整備】 P.4～5

飯田市で今後整備を進めていく、リニア駅前広場の整備工事や公民協働の仕組みの構築など、より具体的な検討の方向性について記載しています。

【柱3. リニア関連道路事業】 P.6～7

長野県・飯田市によるリニア関連道路整備の進捗状況について記載しています。

令和4年12月4日に、リニア駅前広場における土木の実施設計の内容に関わる成果発表会を実施しました。
 令和5年度は、土木工事の着工や建物設計の着手を予定しています。また、ワークショップや情報交換の場を設け、リニア駅前広場から各地域へいざなう仕組みづくりや魅力発信施設、リニア駅周辺の管理運営事業者の組成について検討を進め、リニア駅前広場のハード(施設や整備など)及びソフト(使い方や維持管理など)の両面から事業を推進していきます。

リニア駅前広場の整備に向けた取組、運営主体の形成に向けた検討



交通エネルギー
 (次世代インフラPJ)

- **利便性の高い交通体系の検討**
 既存の公共交通とリニアの二次交通の総合的な在り方
- **新たな交通システムの検討**
 MaaS、自動運転、新モビリティ等の導入、JR飯田線との接続
- **再エネ・省エネの検討**
 災害レジリエンスやエネルギーマネジメント等を見据えた検討

調査・工事

- **埋蔵文化財調査**
 北側(ママ下遺跡)
- **基盤整備**
 南側粗造成

駅前空間整備
 (トータルデザインPJ)

- **グリーンインフラ機能の検討**
 雨水排水ピークシフト、防災減災機能、自然環境の保全等
- **景観形成に向けた検討**
 建築物等の高さ制限、遠景・近景、緑地確保、眺望確保等
- **地域の木材活用に向けた検討**
 市民参画、森林資源活用サイクル、維持管理等

設計業務

- **建築設計**
 木造の大屋根

魅力発信
 (公民協働ブランドクリエイトPJ)

- **地域ブランド構築に向けた検討**
 魅力要素抽出・活用、地域間連携、関係人口の構築等
- **管理運営事業者の組成の検討**
 公民連携による管理運営組織・中間支援組織の組成等
- **広場、高架下空間への展開**
 事業者による活用、広場におけるイベント開催等の検討
- **情報発信に向けた取組み**
 DX活用、移住定住・二地域居住案内、継続的な発信等

皆さんと共に育て、共に創り上げていく

「こんなショップがあったらいいな。」「こんなイベントができたならいいな。それにはこんな設備が欲しいな。」「こんな施設があったらリニア駅前広場に遊びに行きたいな。」など、夢に描いたリニア駅前広場を実現に形にしていく段階に入ります。リニア駅前広場のにぎわいを創出するために、どのような機能を持たせ、それをまちづくりにどう生かしていくのかを、事業者の方をはじめ多くの皆さんにご参画いただきながら議論し、検討を深めていきたいと考えています。

工程表		※工程表スケジュールは現時点(2023年3月)のものであり、変更となる可能性があります。						
事業主体	項目	年度	2023(R5)				2024(R6)~2026(R8)	2027(R9)以降
			2022(R4)迄	4月~6月	7月~9月	10月~12月		
飯田市	駅前広場整備		用地協議(補償金、移転先など個別協議)・契約・移転					リニア中央新幹線 開業
			関係機関協議					
		土木実施設計・説明・意見交換等					建築設計	
							埋文調査・準備工事・土木工事	
	交通エネルギー (次世代インフラPJ)						建築工事	
	駅前広場の空間整備 (トータルデザインPJ)							
魅力発信施設 (公民協働ブランドクリエイトPJ)								

県道市場桜町線

中心市街地とリニア駅を結ぶ約1.4km区間の
拡幅工事を実施します。

(令和5年度の取り組み)

- 土曾川に新設する、土曾川橋りょうの下部工工事、飯沼南地区の拡幅工事に着手します。

国道153号飯田北改良

高屋交差点から座光寺交差点までの約2.6kmを
片側2車線の4車線に拡幅します。

(令和5年度の取り組み)

- 新戸川との交差箇所周辺の工事を行うにあたり、迂回路を造った上で、新戸川函渠工事を進め、土曾川橋りょうの下部工工事に着手します。
- 移転により現道沿いに段差が生じる場所などに道路通行の安全が保たれるよう道路工事を進めます。



座光寺上郷道路

リニア駅と座光寺スマートICを結ぶ約2.9kmの新設道路
を整備します。

(令和5年度の取り組み)

- 上段…フルーツライン～県道飯島飯田線
 - 土曾川函渠工事、道路築造工事、市道付替工事を進めます。
- 下段…国道153号～フルーツライン
 - 竜西一貫水路付替え、小洞沢川付替え、市道付替工事、JR飯田線アンダーパス工事を進めます。

駅前周辺 市道整備

駅前広場や代替地等、飯田市で進めている事業に伴い、
市道改良などを行います。

(令和5年度の取り組み)

- 新戸川沿いに市道上郷489号線・490号線を新設する工事を進めます。国道西側の上郷489号線は令和5年4月から着手する予定です。国道東側の上郷490号線は令和5年3月から着手しています。
- 堂垣外橋の架け替え工事が完了予定です。

工程表

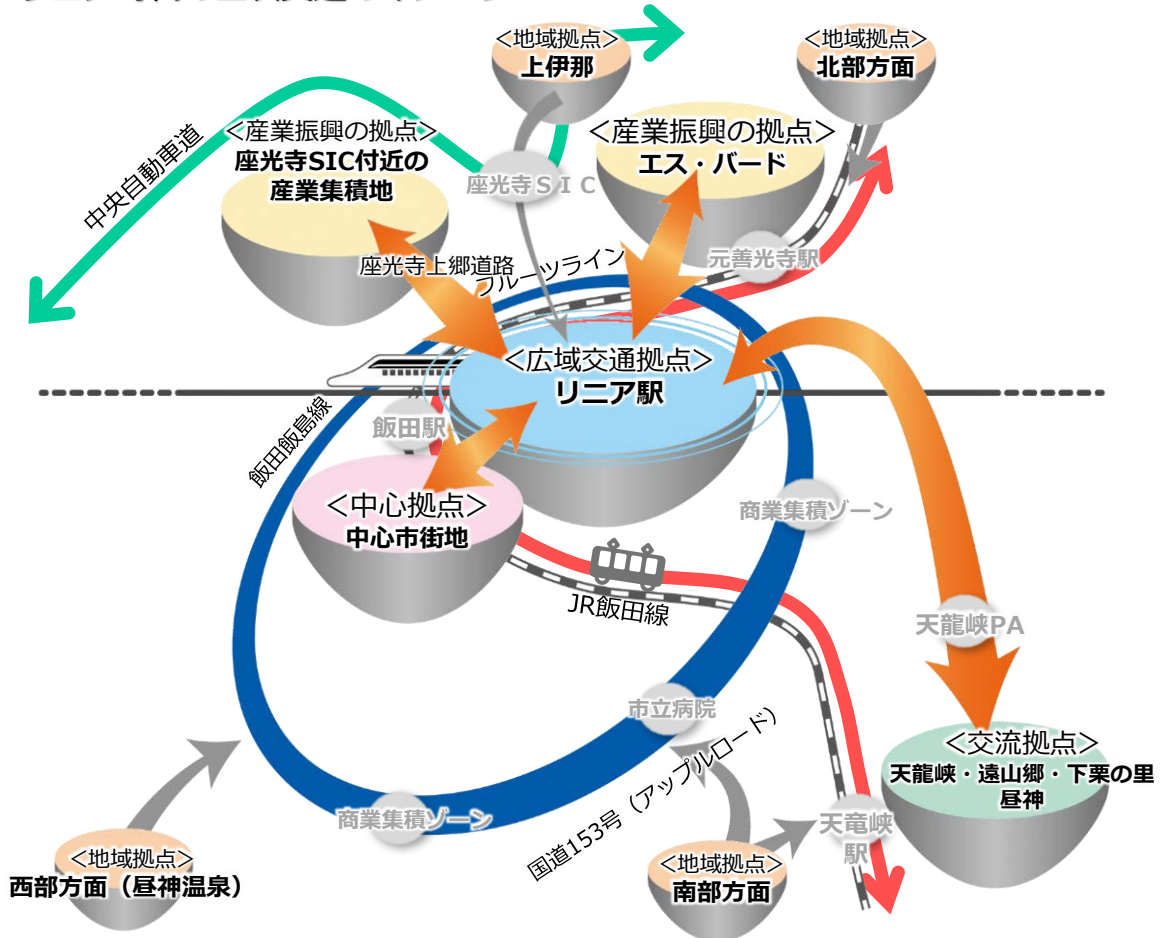
※工程表スケジュールは現時点(2023年3月)のものであり、変更となる可能性があります。

事業主体	年度 項目	2022(R4)迄	2023(R5)					2024(R6)～2026(R8)	2027(R9) 以降
			4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月			
長野県	国道153号飯田北改良(南側) 高屋交差点～北条交差点付近		用地物件調査						リニア中央新幹線 開業
			用地協議(補償金、移転先など個別協議)・契約・移転						
		測量・設計(R5:電線共同溝設計)							
		道路築造工事							
		新戸川函渠工事							
		土曾川下部工工事							
国道153号飯田北改良(駅周) 北条交差点付近～座光寺上郷道路		用地物件調査							
		用地協議(補償金、移転先など個別協議)・契約・移転							
国道153号飯田北改良(北側) 座光寺上郷道路～座光寺交差点付近		測量・設計(R5:電線共同溝設計)							
		道路築造工事							
座光寺上郷道路(上段) 県道飯島飯田線～フルーツライン		用地物件調査							
		用地協議(個別協議)・契約・移転							
		測量・設計(R5:構造物設計)							
		土曾川函渠工事、道路築造工事、市道付替工事							
座光寺上郷道路(下段) フルーツライン～国道153号		用地物件調査	用地協議(補償金、移転先など個別協議)・契約・移転						
		竜西一貫水路・小洞沢川付替工事、市道付替工事、JRアンダーパス工事、道路築造工事							
県道市場桜町線		用地物件調査	用地協議(補償金、移転先など個別協議)・契約・移転						
		測量・設計(R5:構造物設計・電線共同溝設計)							
		道路築造工事、土曾川下部工工事							
飯田市	駅前周辺 市道整備		市道上郷489号線 道路新設工事						
			市道上郷490号線 道路新設工事						
			堂垣外橋 架け替え工事						

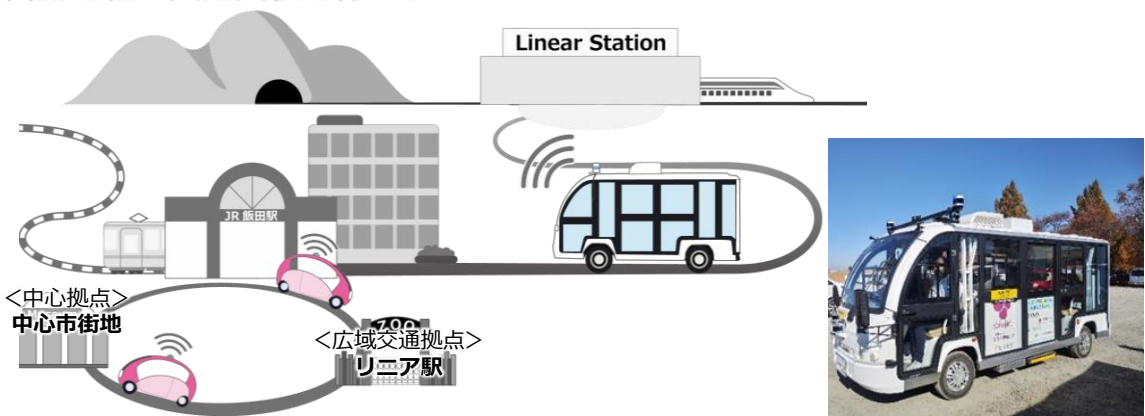
二次交通構築と持続可能な地域公共交通実現

- リニア利用者の利便性を高め、より広域的にリニア駅利用が可能となる二次交通の整備について、自動運転技術等の活用を見据えた検討。
- J R 飯田線とリニア中央新幹線との接続方法に加え、より広域的な二次交通の構築に向けた検討。

◆ リニア時代の二次交通のイメージ



◆ 新たなモビリティ導入によるリニア二次交通の利便性向上を目指すために、自動運転の実証実験を行います。



【問い合わせ先】

飯田市リニア推進部 リニア推進課
TEL : 0265-22-4511 (内線3322)

リニア関連事業の状況は、右記QRコードから映像でご覧いただけます。

